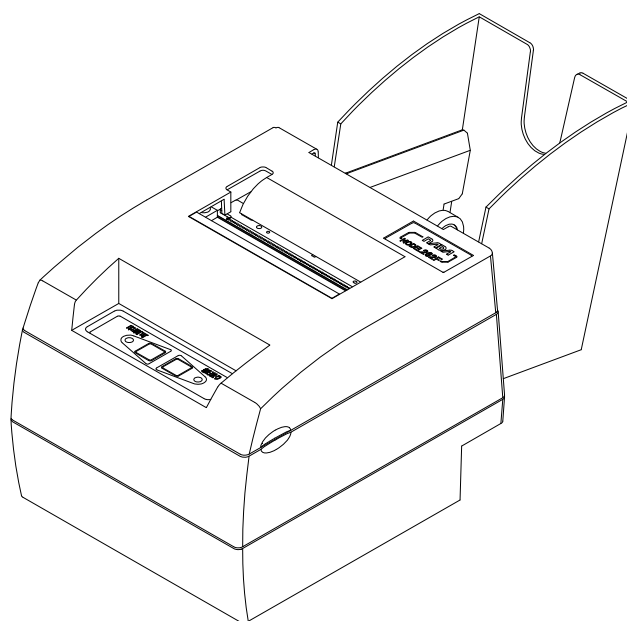


インパクトドットプリンタ

MPT-262F

操作説明書



このたびは、インパクトドットプリンタをお買い上げいただき誠に有り難うございました。
正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読みのうえ、末永く、ご愛用くださるよう
お願い申し上げます。
お読みになった後は、大切に保管して下さい。

ナダ電子株式会社

技2S-151106

安全上のご注意

※ ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
又、お読みになったあとは 本製品の近くなど いつでも見られる場所に必ず保管して下さい。



この「安全上のご注意」では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を絵表示で示します。

注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の程度によって「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。

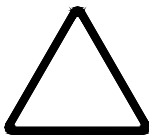





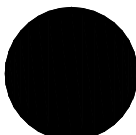


その表示と意味は次の様になっています。

内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

☆ 危害・損害の程度とその表示

 警告	この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が死亡 又は 重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が傷害を負う可能性が想定される内容 及び 物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	<p>この記号は一般的な注意、警告、危険の通告に使用します。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。</p> <p>(例)</p> <p> : 一般的な注意事項</p> <p> : 感電注意</p>
	<p>この記号は一般的なしてはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれているものもあります。</p> <p>(例)</p> <p> : 分解禁止</p> <p> : 接触禁止</p>
	<p>この記号は必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。</p> <p>(例)</p> <p> : 一般的な行為の指示</p> <p> : 電源プラグ抜け</p>



警告



電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのない様に刃の根元まで確実に差し込んで下さい。

ほこりが付着したり 接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。
(プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。)



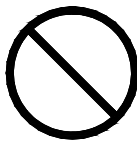
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。又、重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないで下さい。

電源コードが傷んだ時は、販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用しますと火災・感電の恐れがあります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。又、タコ足配線はしないで下さい。

火災・感電の恐れがあります。
(交流100V 50/60Hzの商用電源コンセントに接続して下さい。)



必ず電源を接続する前にアース接続して下さい。

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災・感電の原因となる恐れがあります。



取り外したカバー、キャップ、ネジ等は小さなお子様が誤って飲むことがないように、又、本装置を包装しているビニール袋は誤って被ることがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いて下さい。

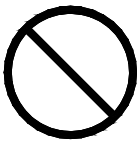
万一の場合は、ただちに医師と相談して下さい。



警告



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
感電の恐れがあります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい時は使用しないで下さい。
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



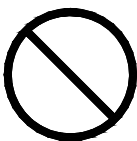
本機を分解・改造しないで下さい。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。



本機のキャビネットを外さないで下さい。
内部の点検、修理は販売店にご依頼下さい。
内部には電圧の高い部分や鋭利な部分があり、感電やけがの恐れがあります。



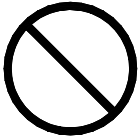
湿気やほこりの多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないで下さい。
火災・感電の原因となる恐れがあります。



本機の上や近くに薬品や水などの入った容器 又は 金属物を置かないで下さい。
万一、こぼれたり 中に入った場合は、火災・感電の原因となる恐れがあります。
異物（水、液体、金属片など）が中に入った時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

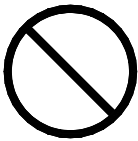


警告



本機の開口部等から内部に金属類や燃えやすい物等の異物を差し込んだり、落としたりしないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



本装置に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動や衝撃の多い場所には置かないで下さい。

落ちたり 倒れたりして、けがの原因になることがあります。万一、本機を落としたり キャビネット等を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



万一、発熱している、煙が出ている、変な臭いがする等の異常が見つかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。

お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

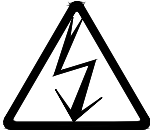


機器を落としたり、カバー等を破損した場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、販売店にご連絡下さい。

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



警告



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。

感電の恐れがあります。



オプション機器を接続する場合には、取扱説明書に書かれていない機器は接続しないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



注意



本機を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

又、接続ケーブルなども外して下さい。

作業は足元に十分注意して行って下さい。

コードが傷つき、火災・感電の原因となったり、機器が落ちたり倒れてけがの原因となることがあります。



電源コードは、必ずプラグを持って抜いて下さい。

電源コードを引っ張りますと コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

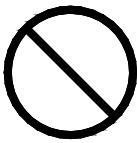


注意



通電したまま 本機をカバー等で被わないで下さい。

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないで下さい。

高温によってカバーなどが加熱、変形、変色、溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



本機の上に重い物を置かないで下さい。

置いた物がバランスをくずして倒れたり落下してけがの原因となることがあります。



調理台や加湿器のそば等 油煙や湯気があたる様な場所に置かないで下さい。

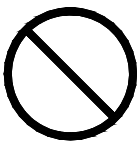
火災・感電の原因となる恐れがあります。



この機器の通風孔をふさがないで下さい。

通風孔をふさぐと 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機を壁ぎわ等に設置する場合は、必ず10cm以上離して下さい。



結露状態のまま使用しないで下さい。

火災・感電の原因となることがあります。

室温の低い所から暖かい場所に移動した場合 又 室内の温度を急に上げた場合は、ご使用前に30分以上放置して結露状態を取り除いて下さい。



注意

	<p>電源コードを熱器具に近づけないで下さい。 コードの被覆が溶けて、火災・感電の恐れがあります。</p>
	<p>カードなどの差し込み口に指などを入れないで下さい。 けがの原因となることがあります。</p>
	<p>記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等を巻き込まれない様にご注意下さい。 けがの原因となることがあります。</p>
	<p>プリンタへのヘッド部分には触れない様にご注意下さい。 けが・火傷の原因となることがあります。</p>
	<p>連休等で 長期間本機を使用しない時は安全のため、必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</p>
	<p>落雷の恐れがあるときは、安全のため 必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災の原因になることがあります。</p>
	<p>重量のある機器を移動する場合は、必ず 2人以上で運んで下さい。 腰や手を痛める恐れがあります。</p>

*** 目 次 ***

□ 使用上の注意	1
□ 付属品の確認	4
□ 各部の名称と機能	5
□ LEDの表示一覧	7
□ カバーの開閉方法	8
□ 記録紙の交換方法	9
□ リボンカセットの交換方法	10
□ ペーパーホルダの取り付け方	11
□ 記録紙のカット方法	11
□ 記録紙の除去	11
□ 消耗品の購入について	12
□ 保守及び清掃	12
□ 保証期間と修理対象期間について	12

□ 使用上の注意

○ 設置について

- ・本機は振動が生じない様な場所でご使用ください。
- ・高温・多湿 又、直射日光の長時間当たる場所でのご使用は避けてください。
- ・揮発性有機溶剤・アンモニア・油等の液体噴霧環境 又は 石や鉄分を含むホコリの多い場所でのご使用は避けてください。
- ・衝撃や振動の加わる場所や強い電磁界、腐食性ガスの発生する場所でのご使用は避けてください。
- ・電源ノイズの大きい機器（例えば空調機器）との電源の共用は避けて 独立した専用コンセントをご使用ください。（又、これらの機器とは離してご使用下さい。）
- ・結露状態での使用は行ってはならない。もし結露した場合は、結露がなくなるまでプリンタに通電しないこと。

○ 電源について

- ・電氣的なノイズを発生する機器（コンプレッサー等）からはなれたコンセントを使用してください。
- ・電源コードを濡れた手で取り扱わないでください。

○ 記録紙について

- ・記録紙の保管や扱いには特に注意して、変形や破損の生じる様な置き方、取り扱いはしないでください。
- ・湿気の多い場所 及び 乾燥しやすい場所に記録紙を保管しないでください。
- ・折りたたみ紙をご使用の場合、ミシン目から前後約8mmの位置での縦倍文字印字の真中に若干のすき間ができます。
- ・長期間使用しない場合は、記録紙をプリンタより取り除くこと。
- ・記録紙を装着した状態でプリンタを長期間使用せず放置した場合、記録紙の変色、汚れが発生することがあります。
- ・記録紙 及び プラテンに異物などの付着のないこと。

○ 記録紙切れ

- ・記録紙切れになった時は、紙送りLEDが約1秒周期で点滅します。
- ・印字中に記録紙切れになった場合は、新しい記録紙を挿入しセットしてください。
- ・印刷可スイッチを押しオンライン状態にすると、プリンタは続きのデータを印字します。

○ メカについて

- ・メカ部の主な板金部（プレス部）は メッキ鋼板を使用している為、端面に多少の錆が発生する場合があります。
- ・印刷可（セレクト，オンライン）状態での記録紙の引き抜きを禁止する。
- ・記録紙を引き抜く場合は、印刷不可（ディセレクト，オフライン）の状態でも紙送り方向に行ってください。
- ・印刷不可（ディセレクト，オフライン）の状態でも記録紙の紙送り逆方向への引き抜きを禁止する。

○ 印字ヘッドについて

- ・記録紙 及び リボンカセットをプリンタ装置にセットしていない状態で印字しないでください。空印字しますと 印字ヘッドやプラテンが傷みます。
- ・印字ヘッドが動いている時は、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ・印字ヘッドは高温になります。温度が十分に下がるまで、手で触れないでください。
- ・印字中に電源コードを抜かないでください。

○ リボンカセットについて

- ・リボンカセットは純正品をご使用ください。
- ・純正品以外のリボンカセットの使用は、リボンカセットの走行不良や印字ヘッドの劣化などの障害を起こす事があります。純正品以外のリボンカセットを使用して 印字ヘッドが損傷した時の責任は負いかねます。
- ・リボンがたるんだ状態でのご使用は避けてください。

○ 印字品質について

影響を受ける項目	影響度	説明
印字文字数(行数)	大	リボンの寿命に影響し、印字濃度が薄くなります
印字間隔	大	連続印字の場合は印字濃度が薄くなります
使用環境	大	湿度が低くリボンが乾燥すると印字濃度が薄くなります
製品間の個体差	小	個体差により同一条件下でも製品間で濃度差が出ます

○ 衝撃について

- ・本機は精密な電子部品でできていますので、落としたり 物を当てたりして衝撃を与えないでください。

○ 水や異物について

- ・本機内部に水や液状の物が入ったり、ピン・クリップ等の金属類を落とし込んだりしないでください。本機が故障する可能性があります。
- ・水や液状の異物が入った場合は、すぐに電源コードを抜いて 購入された販売店までご相談ください。

○ 汚れについて

- ・本機の外装部ケース等の汚れは、柔らかい布に水 又は 中性洗剤を少し含ませて軽く拭き取ってください。
- ・シンナーなどの揮発性の物で拭いたりしますと 筐体ケースの変色などの原因となります。

○ 故障の場合

- ・万一 故障が発生した場合は、電源コードを抜いて 購入された販売店までご相談ください。

○ その他の注意

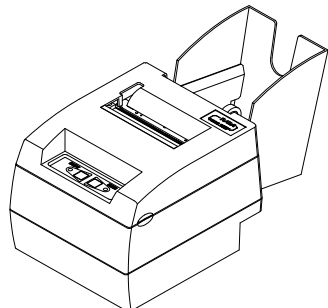
- ・本書の内容の一部 又は 全部を無断転載することはお断りします。
- ・本書の内容に関しては 将来予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品がお客様により 本書の内容に従わず不適當に取り扱われたり、また ナダ電子(株) 及び ナダ電子(株)指定の者以外の第三者により 修理・変更されたことなどに起因して生じた損傷等につきましても、責任を負いかねますので ご了承ください。

(C)ナダ電子株式会社 2009

□ 付属品の確認

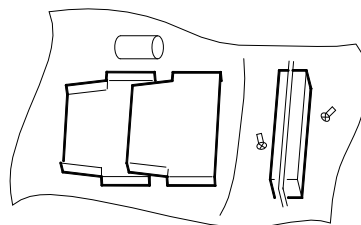
梱包箱より 本体部を取り出して、付属品を確認してください。

プリンタ本体



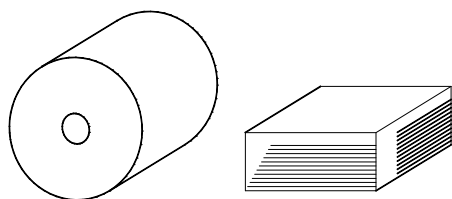
折りたたみ紙仕様の場合は、ペーパーホルダ内にロール紙受けがありません。

インターフェースコネクタ



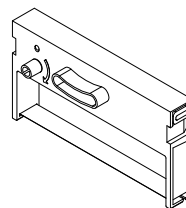
(XM3A-2521 : コネクタ)
(XM2S-2511 : フード)

ロール紙 : 折りたたみ紙 :
NR-760 NF-760

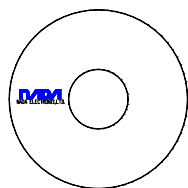


型式によりいずれかが付属します。

リボンカセット (赤/黒) :
IR-31RB

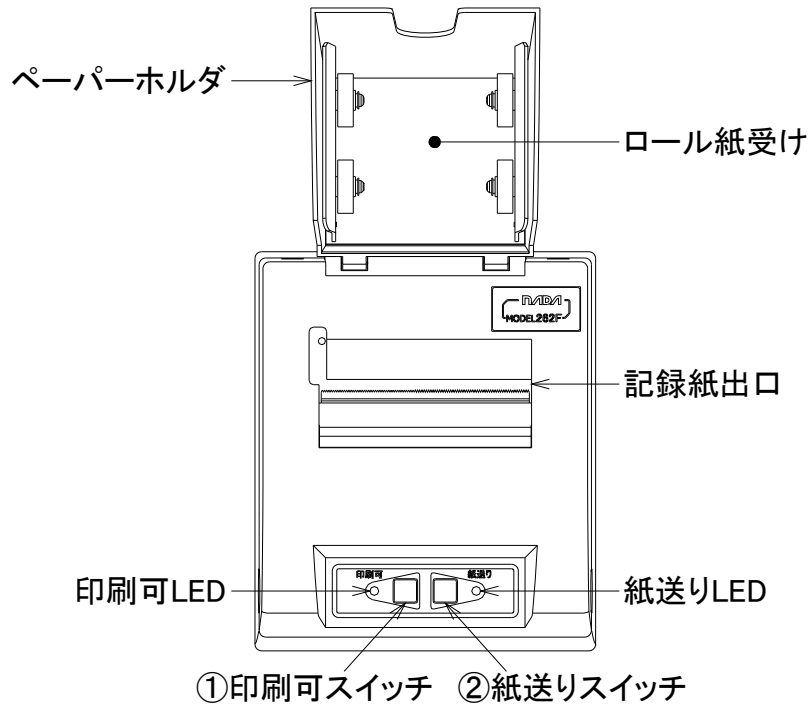


取扱説明書／操作説明書 (CD-ROM)
(場合により付属しない場合があります)



□ 各部の名称と機能

1. 操作パネル



① 印刷可スイッチ

このスイッチを押すことで印刷可（セレクト，オンライン）状態、印刷不可（ディセレクト，オフライン）状態に交互に切り替えることができます。

ただし ディップスイッチ1-5がOFFでなければなりません。

印刷可中は、印刷可LEDが点灯します。

印刷中に印刷可スイッチを押すと、プリントを一時停止します。

再度、印刷可状態に戻すと残りのプリントを行います。

印刷中に記録紙がなくなった場合は記録紙をセット後、印刷可スイッチを押す事で印刷可（セレクト，オンライン）状態に戻り続きのデータを印字します。

② 紙送りスイッチ

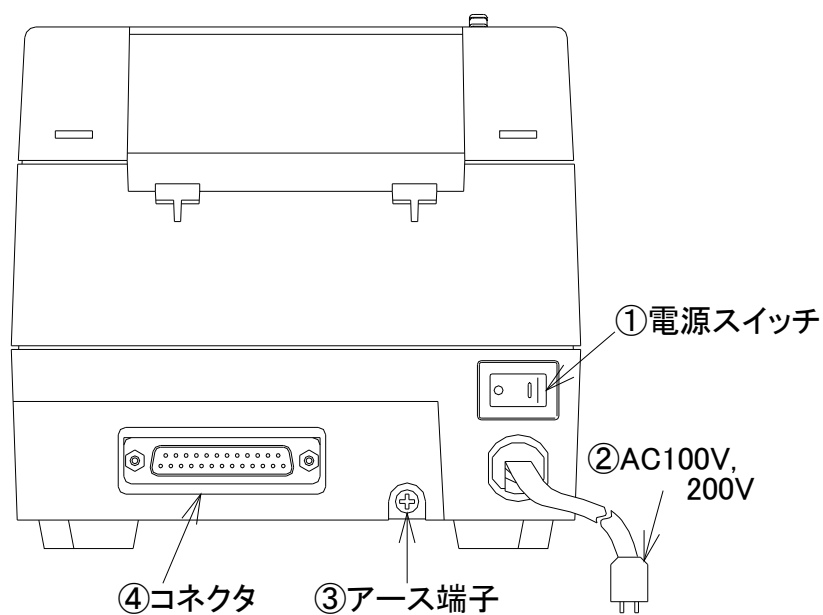
このスイッチを押すと紙送りをします。

印刷不可（ディセレクト，オフライン）状態でこのスイッチを押しながら①印刷可スイッチを押すことで逆方向に紙送りします。

又、記録紙がセットされた状態の時、このスイッチを押したまま電源スイッチをONすると、本機のROMバージョンと機能切替スイッチの設定状態が印字され、続いてテストプリントを行います。テストプリントの印刷が終了すると受信可能状態となります。

その際のANK文字形式は5×7ドットフォントになります。

2. 裏パネル



① 電源スイッチ

電源を ON/OFF するスイッチです。
裏パネルより見て右側に倒すと ON になります。

② AC100V, 200V

AC100V, 200V・50/60HZ 電源供給コードです。

(注) 製品に使用されていますプラグ付電源ケーブルは国内向けのため、最大 125V となっています。125V 以上で使用される場合は、プラグを変更してください。

③ アース端子

接地用ターミナルです。

④ コネクタ

RS-232C 及び、セントロニクス I/F 用コネクタです。

□ LEDの表示一覧

○点灯 ●消灯 ☒点滅

LED の状態		内容	対処方法
印刷可 LED	紙送り LED		
○	●	オンライン状態 (セレクト) データ受信が可能で印字可の状態です。	印刷できます。
●	○	オフライン状態 (ディセレクト) 印字不可の状態です。	印刷可スイッチを押してオンライン状態にしてください。
●	☒	ペーパーエンド (用紙切れ) 紙無しで印刷できない状態です。 (1回/秒間隔の点滅)	用紙を補充し、印刷可スイッチを押してオンライン状態にしてください。
		サーミスタエラー (5回/秒の点滅) 印字ヘッドが高温状態にあつて印字できない状態です。	電源をOFFにして、温度を下げて ください。
☒	☒	メカニズムエラー (5回/秒の点滅) メカの故障、紙詰まり、ゴミが溜まる 等が原因で印字ヘッドが正常に動作で できない状態です。	電源をOFFにして原因を取り除い てください。 度々メカニズムエラーが発生する場合は 修理が必要です。
		カッターエラー (1回/秒の点滅) カッターが装着されていないか、カッ ターの故障が原因で、カッターが動作 できない状態です。	電源をOFFにして原因を取り除い てください。 度々カッターエラーが発生する場合は修 理が必要です。

□ カバーの開閉方法

1. カバーの開け方

図-1の様に、カバーの前の部分を矢印①の方向に引きながら、矢印②の方向に後側に少し押して（図-2）カバーを外します。

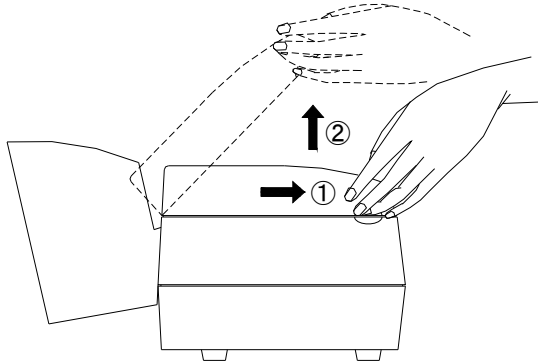


図-1

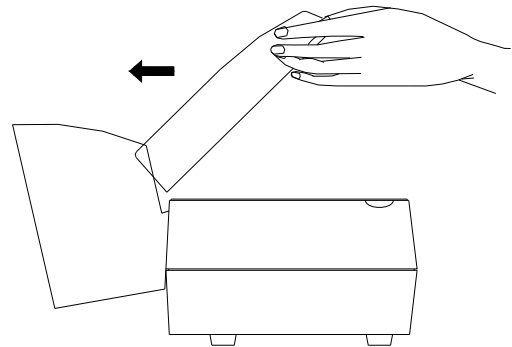


図-2

2. カバーの閉め方

図-1の様に、後の凸部にカバーを入れ閉めてください（図-2）。

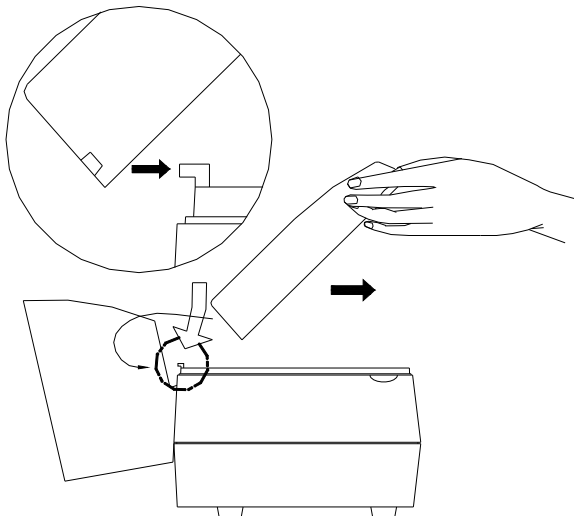


図-1

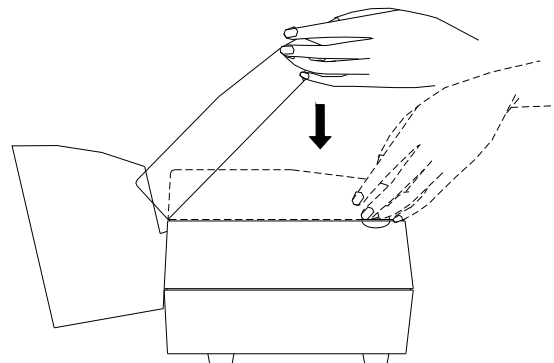
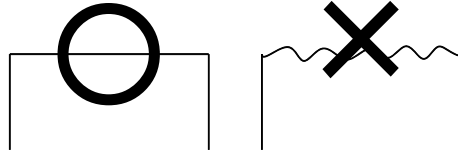


図-2

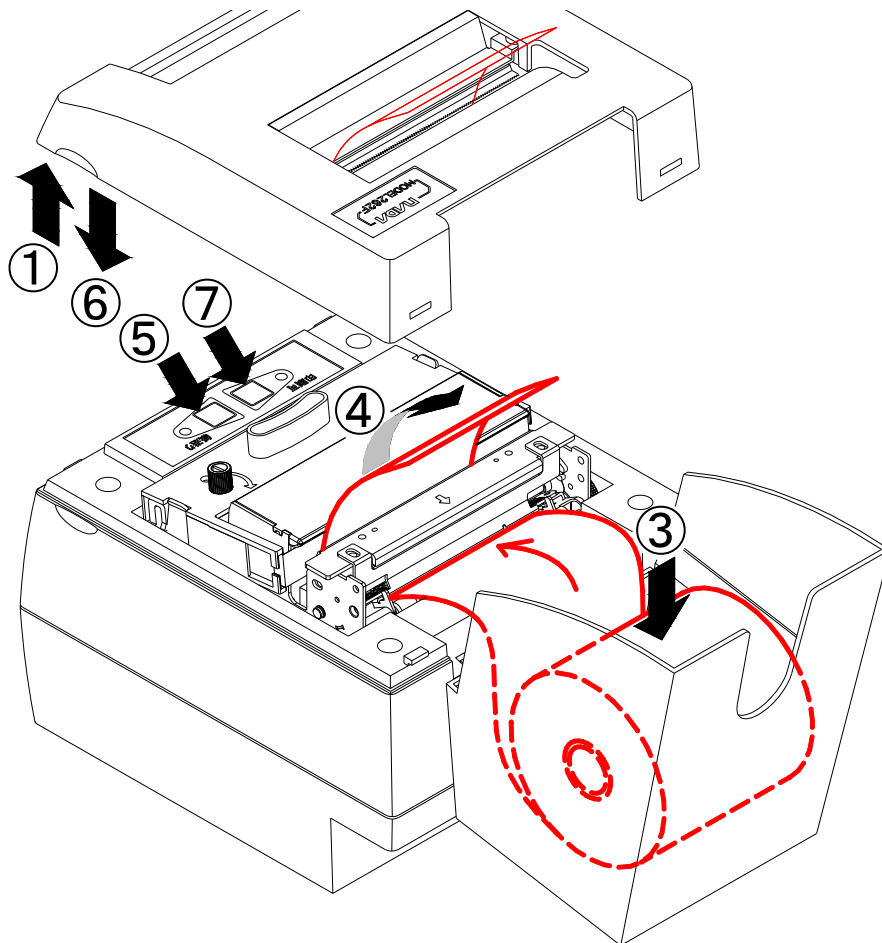
□ 記録紙の交換方法

- ①カバーを開けてください。
- ②記録紙をまっすぐ切ってください。（折りたたみ紙の場合は、ミシン目でカットしてください）

記録紙先端



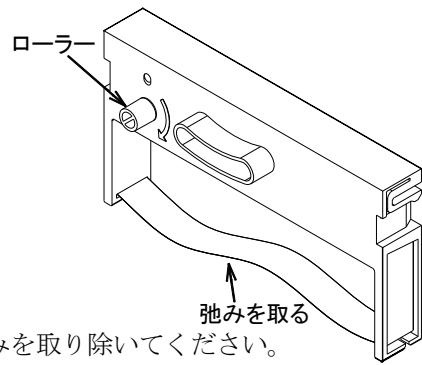
- ③記録紙を記録紙ボックスにセットします。
記録紙の先端をメカニズム後方のペーパーガイドに当て、そのまま送ると記録紙挿入口に自然に進入します。（印刷する面を下にしてセットしてください。）
メカニズム下部中央部分に記録紙センサーがあり、記録紙を検出すると数秒間自動的に紙送りされます。
- ④印字メカニズムから記録紙が出てきます。
- ⑤紙送りスイッチを押して記録紙の弛みを取り除いてください。
- ⑥記録紙の先端をカバーの記録紙出口に通してから、カバーを閉じてください。
- ⑦印刷可スイッチを押してオンライン状態にしてください。



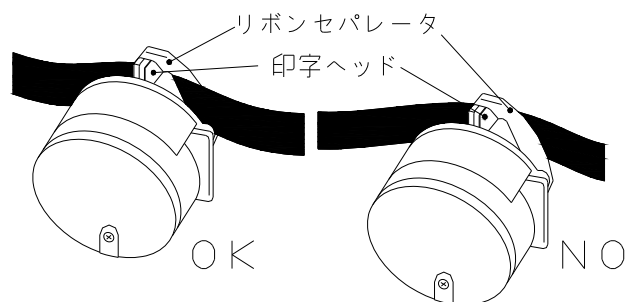
（上図はロール紙をセットした場合の図です）

□ リボンカセットの交換方法

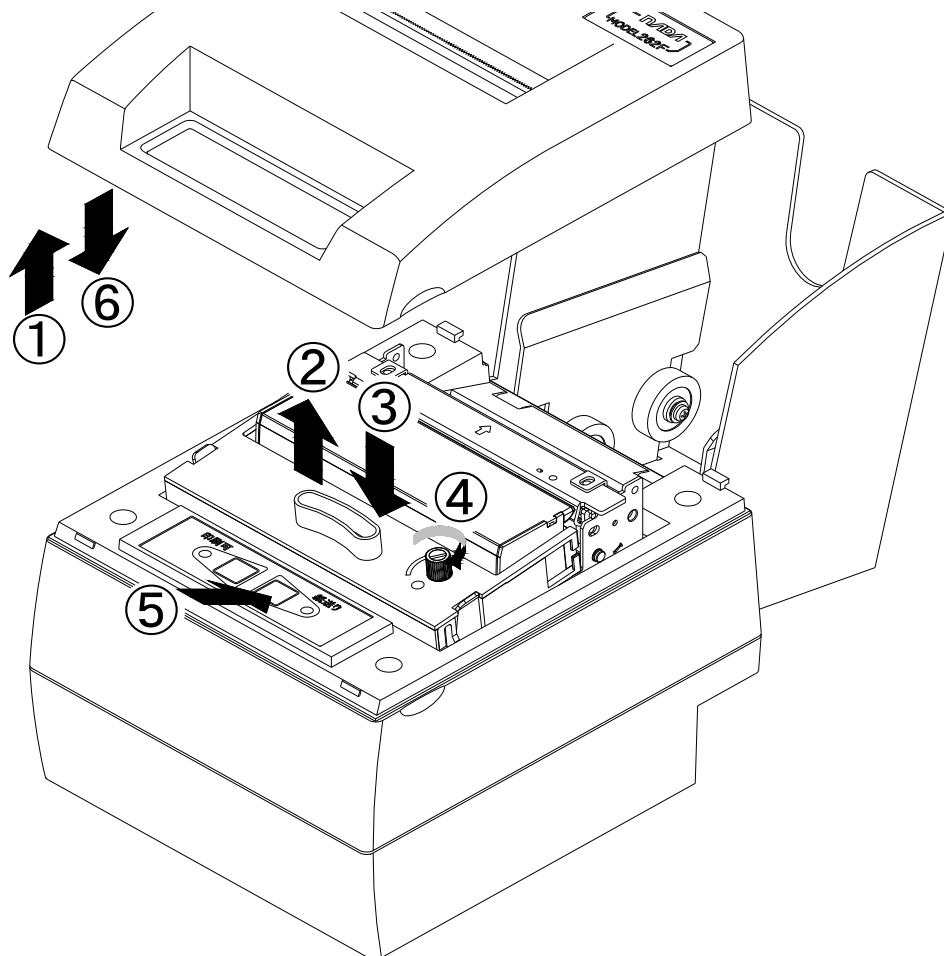
- ①カバーを開けます。
- ②リボンカセットの取っ手を持ち手前に外します。
- ③リボンが記録紙の上になる様にリボンカセットを取り付けます。
取り付け時、うまく入らない場合ローラーを少し回すと取り付けられます。
- ④リボンに弛みがある時は、ローラーを矢印方向に回して弛みを取り除いてください。



印字ヘッドとリボンセパレータの位置関係

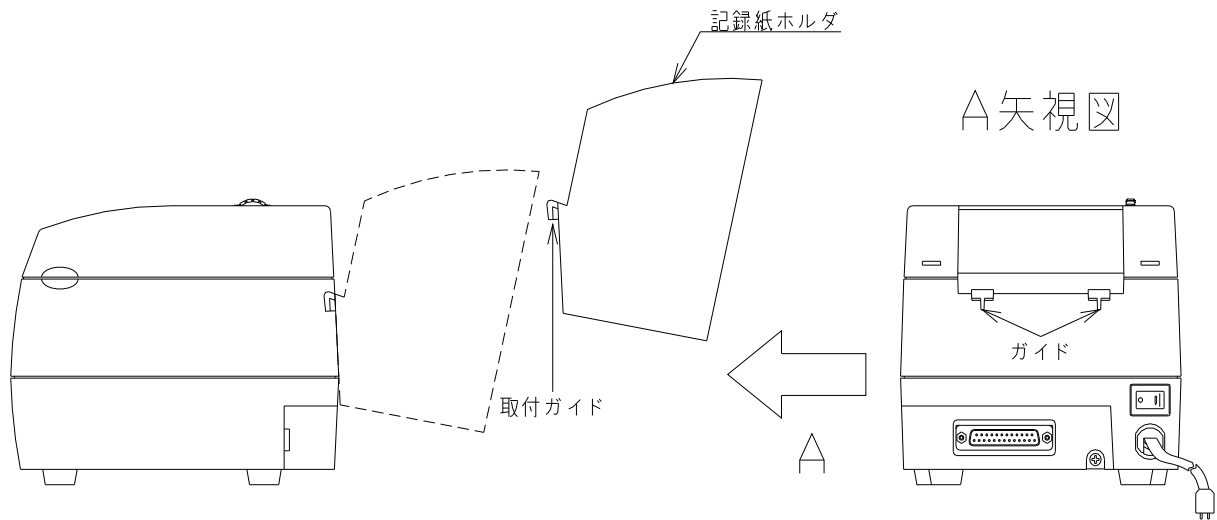


- ⑤紙送りスイッチを操作してリボンの動き、記録紙の送りに異常がない事を確認して終了します。
- ⑥カバーを閉めます。



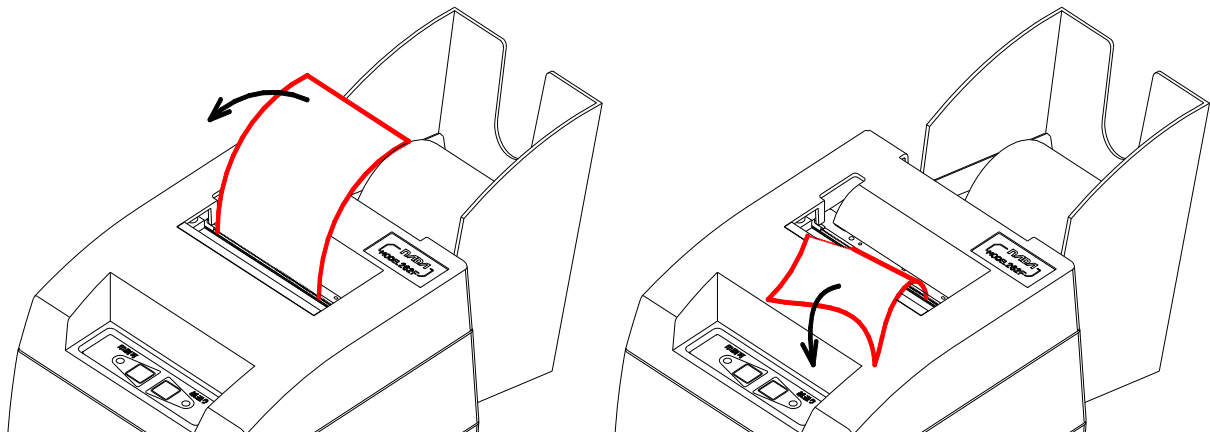
□ ペーパーホルダの取り付け方

ペーパーホルダの取付ガイドをA矢視図のガイドの上よりはめ込みます。



□ 記録紙のカット方法

印字後の記録紙のカットは、上方に引かず手前に引いてカットしてください。



□ 記録紙の除去

メカの記録紙挿入口手前で切って、紙送りスイッチを押して記録紙を排出してください。
折りたたみ紙の場合はミシン目部分で切ってください。

(注) 手で抜き取ると記録紙は斜めになって、プリンタ内で詰まることがあります。

記録紙の除去は、必ず紙送りスイッチを押して（紙送りモータを回転させ）記録紙を排出してください。

□ 消耗品の購入について

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1) リボンカセット | 型式：IR-31RB | 購入単位：10巻 |
| 2) ロール紙 | 型式：NR-760 | 購入単位：10巻 |
| 3) 折り畳み紙 | 型式：NF-760 | 購入単位：10冊 |

□ 保守及び清掃

長期の使用により紙粉等が付着して誤動作する事が考えられます。
その為、定期的に清掃し、トラブルを未然に防止する様、保守管理を行ってください。

[汚れの除去]

柔らかな布にアルコール、又はベンジンをつけて拭き取ってください。

(注) シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は、プラスチック部品を破損する恐れがありますので、使用しないでください。

[ゴミ、ホコリの除去]

真空による掃除（電気掃除機の利用）を行ってください。

[定期点検]

3ヵ月或は、50万行印字に達した時点で定期的に点検を行ってください。

- ・各種バネの変形を確認してください。
- ・検出器付近のゴミ、ホコリを除去してください。

□ 保証期間と修理対象期間について

1. 当プリンタの保証期間は、出荷後6ヶ月間とします。
2. 保証期間を過ぎたもの 及び 保証期間内でユーザー側責任（使用範囲を越えた使用並び使用中の落下などによる破損、天災など）による故障については保証外とします。
3. 保証期間内においても寿命を越える使用による故障は保証外とします。
4. 修理対象期間は製造中止後5年間とします。
5. メカニズム等の一部部品については、保全を前提としていないためユニットごと交換する場合がありますのでご了承ください。
6. 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。



ナダ電子株式会社

本 社	神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号 TEL(078)413-1111 FAX(078)412-2222	〒658-0015
東 京(営)	東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル TEL(03)3455-4230 FAX(03)3455-4249	〒108-0014
名古屋(営)	名古屋市名東区上社1-1304 北村第三ビル TEL(052)776-1921 FAX(052)775-6080	〒465-0025
福 岡(営)	福岡市博多区博多駅南1丁目7-16 オーリン7号ビル TEL(092)471-8305 FAX(092)471-8355	〒812-0016